

晩年、声が出なくなった叔父が、「本当の愛は全てを完成する」と私に書いて送ってくれた。それを胸に私は生きてまいりました。

私は人が好きです。そして、今私は幸せですから、だから人々の幸せのために全道国際交流センターで働いております。

主人は私に向って「お前は話すのが上手ではない。言葉というものは神が与えてくれた大切なものだから、上手に話そうとしないで正直に、ありのままに、感じた事をそのまま話す様にしなさい。」と言ってくれました。ですから私は、それを実践しております。

これからも函館の為、世界の平和の為に働いて、生きて行きたいと思っております。

(会報担当者：阿部 誠太 委員)

### ◎ 7月18日出席報告

会 員	53名	出席率対象会員	51名
		出席規定免除会員	2名
当日出席	32名	当日欠席	19名
他クラブ出席	16名	出席合計	48名
出席率	94.12%		

・ テレホンサービス(例会移動案内)電話 23 - 2377 番

次回・8月15日

「自主休会」

プログラム

8月22日

「クラブ協議会」



# 函館北ロータリークラブ会報

2001~2002年度 国際ロータリーテーマ

国際ロータリー会長 リチャード D. キング

## 人類が私たちの仕事

## MANKIND IS OUR BUSINESS

薮下 義晴 会長テーマ 『楽しみと親しみのある出会い・そして感動』



8月1日卓話 石館 とみ 氏

### 《第1836回例会》 第6号 8月8日(水)

### 本日のプログラム

移動夜間例会「納涼ビア・パーティ」

函館ハーバービューホテル 午後6時30分～

★会長 薮下 義晴

★幹事 藤野 明信

例会場:函館国際ホテル 〒040-0064 函館市大手町5-10 TEL23-5151  
例会日:毎週水曜日 12:30~13:30 事務局:函館市大手町5-10 ニチビル4F TEL23-3870

## 8月1日の記録

◎司 会 数下 義晴 会長 ◎斉 唱 君が代、奉仕の理想

◎ゲ ス ト (有)キングバーク代表取締役会長  
北海道国際交流センター事務局長 石館 とみ 氏

◎ビジター 函館R.C. 木村一郎君・平内靖彦君・木村英夫君

★8月誕生祝 田中会員(1日)、千葉会員(4日)、野田会員(7日)、鈴木会員(14日)、藤谷会員(17日)、橋場会員・山崎会員(22日)、川村会員(23日)

★8月結婚祝 小池会員(3日)、成田会員(8日)

◎会長報告 数下 義晴 会長

○今日から港まつりです。天候は不順の様ですが、家族でくり出して函館を盛り上げましょう。

○新入会員紹介 鈴木 伸一 氏 推薦者：数下 義晴 会長  
高橋 真 氏 推薦者：戸栗 力 会員

○理事会報告 インターアクトの認証伝達式及び予算につき討議し、承認されました。実行委員長は松見会員、委員は中野会員・佐々木会員・森 会員です。

◎委員会報告

●米山財団委員会 小池 凌一 委員長

米山財団は、かねてより資金不足でございますので、新たに米山ボックスを設置させて頂き、月一回500円のご協力を頂き度くご報告致します。

◎幹事報告 藤野 明信 幹事

○当クラブ次週の例会は夜間例会に変更、15日は自主休会となっております。  
○合同事務所は8月11日より15日まで夏期休暇のため、閉所致します。  
○8月13日函館亀田R.C. 14日函館東R.C. 16日函館R.C. 17日函館五稜郭R.C.は自主休会に変更となります。

◎親睦活動委員会 田中 薫 委員

## ニコニコBOX投入報告

数下 会長……再入会会員の鈴木さんを歓迎して。

藤野 幹事…… ”

鈴木 会員……再入会しました。よろしくお願いします。

阿相会員・柴崎会員・成田会員……再入会会員の鈴木さんを歓迎して。

増山会員・森 会員・高橋会員・粟飯原会員・緒方会員・小笠原会員・増田会員・北村会員・佐々木会員・今井会員……月始めです。BOXに協力。

田中 会員……誕生日です。

阿部 会員……BOXに協力。

松見 会員……夏よこい。

二葉会員・藤田会員・野田会員……石館さんをお迎えして。

中川 会員……8月3日渡辺病院へ慰問に行きます。

高橋(真)会員……新入会員です。よろしくお願いします。

小池 会員……結婚41年になりました。(8月3日で)

千葉 会員……誕生月です。

中野 会員……37℃大阪から帰ってきました。

◎卓話 「国際交流について」 (有)キングバーク代表取締役会長

北海道国際交流センター事務局長 石館 とみ 氏

男女平等の世の中と言われておりますが、女性の社会進出はこれから考えていかねばならない、そんな思いがしております。

人生で大事なものに、出会いと言うものがございまして、私には2つの大きな出会いがありました。

1つ目は遺愛女学校です。この遺愛女学校で学ぶことがなかったら、今の私はないと言って良い位に思っております。

2つ目は、叔父の石館守三です。

この2つの出会いが、今の私の原点であると言って過言でありません。叔父はキリスト教の教えに基づいて、愛の教えの実践に一生を尽くしました。病に悩む数々の人々を見て、その人達の為に、次々と新薬を開発し、ひたむきな人間愛に燃えてひたすら実践いたしました。

私は、病気がちでしたから、貧しかったから、種んな苦勞を致しましたから、生きた体験をして来ましたから、そして叔父と遺愛女学校の出会いがありましたから、今の私があります。